

三〇一五番

雷かみのごと 聞きこゆる滝たきの 白波しらなみの 面おも知る君きみが
見みえぬこのころ

三〇一六番

山川やまがはの 滝たきにまされる 恋こひすとそ 人ひと知りにける
間まなくし思おもへば

三〇一七番

あしひきの 山川やまがはみづ水の 音おとに出いでず 人ひとの児こ故ゆえに
恋こひ渡わたるかも

三〇一八番

高こ端せなる 能の登と瀬せの川かはの 後のちも逢あはむ 妹いもには我われ
は 今いまにあらずとも